

ふれあい

NO. 246

2013. 12. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>

退任のご挨拶

第9期理事長 笹野井 庸夫

11月30日をもって3期6年務めさせて頂きました理事長職を退任させて頂きました。

就任時から皆さまより頂きました温かいご厚情に対し心より御礼申し上げます。

また、私の前任の保田理事長から子ども達の事を考え、育成会を頼むと重責を託されました時より、私の果たすべき役割の重要性を重く受け止めた事を思い出します。

さて、6年間いろいろな事がありましたが、私自身としましては、少しは重責を果たせたのではないかと思います。ただ、皆さまから見ますと足りない部分が多々あったのではないかと思います。お許し頂けましたら幸いです。

大阪市育成会も苦難の中、大阪市精神薄弱者育成会から、大阪市知的障害者育成会へ、また、昨年の大阪市手をつなぐ育成会への名称変更をさせて頂きました。

私の就任した当時は、平成15年度に障がい福祉サービスは「措置費制度」から「支援費制度」に移行し、その後の平成18年度には「障害者自立支援法」が施行され、障がい者施策が大きく変わった時期でした。とりわけ「障害者自立支援法」の施行後の課題として、当育成会としても全日本育成会に対して、皆さまと共に厚生労働省に対して強く働きかけを行うため、積極的な要望活動を行ったことも昨日のように思い出します。

私も子どもを48年前に授かりました。若かったです。夫婦で涙を流したこともありました。「苦労」という2文字が重く感じていました。仕事に任せ、女房には、しんどい目をさせましたが、何も言わずに子ど



もを育ててくれました。そして、この役職に就いた時も確かにきつい言葉は聞きましたが、理解を示してくれたことで、今日まで役職を務めてこられたのではないかと思います。我が子にも人としての生き方を教えてもらい、多くの人のふれあいで福祉の勉強もさせて頂きました。私の人生の中の大きな進歩であり、大切な1ページになりました。この気持ちを何時までも忘れないように親子3人で元気一杯生きていこうと思います。

11月9日から10日には全日本育成会大会に参加して参りました。第4分科会の中で「若い」の話がありました。96歳の母親が60歳の子どもを「看取る」。子どもが親を「看取る」。親も子どもと共に高齢化の波を迎えている状況は、私たちにとっては厳しい現実です。でも、くじけていたら子どもの将来は考えられません。

今、地域との関わりが強調されています。「共生社会」です。地域の中で一人の人間として、当たりまえに暮らせていける社会の実現に向けて育成会活動の元、私も一会員として前向きに進んでいけたらと思います。また、皆さまとの「絆」を大切に、共に頑張っていけたら、不安も少しは解消されるのではないかと思います。

今回、私の後任として小泉新理事長をはじめ新役員の皆さまが12月1日から就くことになりました。小泉新理事長は私を副理事長として支えて下さいました。自信を持って推薦させていただきます。

今後は私に頂きましたご厚情を今後ご苦労いただきます新役員の皆さまに頂けますことを切にお願い申し上げます。新役員の皆さまには大阪市育成会のより一道の組織強化と育成会活動の発展のため、寄与されますことを願い、私の退任のご挨拶とお礼の言葉とさせて頂きます。

ありがとうございました。